



2026年6月25日

富良野線走行車両に車輪傷が多数発見された事象について

6月24日、旭川運転所構内において複数のH100形車両の車輪に小さな傷が多数、車輪全周にわたって発生しているのを発見しました。

原因を調査するため、富良野線において、本日の始発から列車を運休して線路点検を行っております。ご利用のお客様にはご迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。

1. 発見日時 2026年6月24日 11時00分頃

2. 発見場所 旭川運転所構内

3. 概況 6月24日11時00分頃、旭川運転所構内においてH100形車両の交番検査(※)を実施した際、旭川から富良野方面に向かって左側の車輪4枚に小さな傷が多数、車輪全周にわたって発生しているのを発見しました。6月22日にも他のH100形1両で同種の傷を認めていたことから、その他の車両を確認したところ、富良野線を走行した車両14両で同様の傷が発生していることを認めました。

車輪傷は何かを踏み潰したような小さな傷であることから、安全上の問題はありませんが、多数発生すると社内基準により当該車両を使用停止し、車輪を削正する必要があります。速やかに原因を除去しなければ多数の車両が使用停止となり、このままでは定期列車の運行に大きな影響が出る可能性があることから、原因を調査するため、富良野線において本日の始発から列車を運休して線路点検を実施しております。

※ 交番検査：車両を使用していない期間を除いて90日を超えない期間ごとに行う、車両の状態及び機能についての定期検査のこと

4. 調査状況

- (1) 6月24日、保線社員が定期列車に添乗して線路点検を行いましたが、異常が認められませんでした。
- (2) 6月25日の1時から、富良野線に試運転列車を走行させて、車輪傷の発生有無を確認しました。その結果、千代ヶ岡～美瑛駅間で車輪傷が発生したことを確認しています。
- (3) 試運転列車の走行後から、千代ヶ岡～美瑛駅間において線路点検を実施しています。

○ 6月24日に発見された車輪傷

※いずれも、旭川から富良野方面に向かって左側の車輪に発生していた



○ 6月25日に実施した試運転列車で確認された車輪傷

※いずれも、旭川から富良野方面に向かって左側の車輪に発生していた



○車輪傷の限度

- ・ 50 mm以上 75 mm未満のものが、2箇所。
- ・ 75 mm以上のものが、1箇所。

ただし、連続した擦傷、剥離は一つのものとして扱い、その長さが使用限度を超えないこと。このとき、隣り合わせの擦傷、剥離の間隔は限度値の最小数値以下の50mm 未満とする。